

Maz-motte

名古屋JCがつくる広報誌 マズモッテ

Vol.1

2023.01.31



幸せが連鎖するまち名古屋
あなたの隣の人を笑顔にしよう！

公益社団法人名古屋青年会議所
2023年度(第73年度)スローガン



Maz-motte

名古屋JCがつくる広報誌 マズモッテ

Vol.1

2023.1.31

名古屋JCがつくる広報誌



発行者／公益社団法人名古屋青年会議所
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目15番24号 名古屋JC会館

TEL 052-221-8590

Junior Chamber International NAGOYA 2023

賛助・協賛企業の募集について

■賛助・協賛について

名古屋青年会議所は70年間に亘り、名古屋のまちを想い、活動してきました。今後、より一層まちや市民の皆様から求められる運動を展開していくためには、単独の活動ではなく、多くの方々から共感を得て、共に活動していくことが大切であると考えています。

そこで、当青年会議所では社会課題の解決に向けて、あらゆるパートナーと連携し、新たな価値、すなわち持続可能なブランドや事業を創造していく取り組みを行っています。青年会議所運動にご賛同いただける企業・団体・個人の方には賛助として、それぞれの事業・例会にご賛同いただける方には協賛としてご支援いただき、協働して運動を展開しています。

賛助いただける利点として、当青年会議所は、600名近い青年経済人である会員から形成されており、経営者層の人間も多く在籍しておりますが、その会員に対して、貴社の活動内容や特色をアピールする機会を設けさせていただきます。また、我々は、地域との協働により、明るい豊かな社会の実現するために活動しております。

広報誌やWEBの活用により、貴社を賛助企業としてPRすることで、より一層のイメージアップを図ることができます。

■協賛によってなされた事業

昨年度、当会議所は、複数の事業・例会を、外部企業・団体等の協賛金に支えられて実施しました。例えば、スポーツを通して国際交流を推進する事業～Cross the border with sports～ではブラジル、中国、朝鮮韓国の、3カ国との在日外国人のサッカーチームと日本のサッカーチームの合計4カ国のチームによるサッカー大会を開催するにあたり、外部協力者の皆様から多くのご協賛をいただきました。

また2017年から続いている高校生による国際交流事業3G-projectも昨年度も開催させていただき、姉妹JCとの交流、在名古屋米国領事館への訪問をさせていただきました。

■賛助・協賛の方法

2023年(第73年度)では、当青年会議所の目的に賛同し、その活動を援助することによって当青年会議所の発展を助成しようとする企業・団体に対し、ご要望に応じた賛助プランをご用意しています。また、各事業・例会に対してご協賛いただく場合には、担当委員会と共にその内容を定めていただくことになります。詳細につきましては、名古屋青年会議所事務局を通して、広報委員会までお問合せください。

お問い合わせ先 公益社団法人名古屋青年会議所
2023年度(第73年度)広報委員会
メールアドレス：73kouhou.nagoyajc@gmail.com

賛助企業 株式会社ミクロク情報サービス
東海東京証券株式会社

マズモッテ定期送付ご希望の方へ

携帯・スマートフォン・パソコンからお申し込み

①QRコードを読み取って下さい→



②「マズモッテ定期送付依頼フォーム」から
必要事項をご入力下さい。

※※QRコードでなく、直接ご入力の際は下記アドレスをご入力下さい。
https://www.nagoyajc.or.jp/68nendo/about/mazmotte/main_form.php
※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に従い取り扱います。
※公益社団法人名古屋青年会議所に関する情報提供以外の目的では利用いたしません。
※アクセスにはご契約の通信料がかかります。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

名古屋の魅力を発信する情報をゲット！

名古屋青年会議所のホームページやSNSでも情報を発信中！

公式YouTube
チャンネル



公式Facebook



公式Instagram



公式Twitter



公式LINE



公益社団法人名古屋青年会議所

〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目15番24号
TEL 052-221-8590 FAX 052-202-0464

<http://www.nagoyajc.or.jp>

名古屋青年会議所

検索



“郷土を守り、未来へつなげるマチナゴヤ”

名古屋市長

河村 たかし



年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

約3年にも及ぶコロナ禍で、市民・事業者の皆様には基本的な感染防止対策の徹底などに医療従事者をはじめ関係の皆様には医療提供体制の確保やワクチン接種などにご協力いただき御礼申し上げます。本市においては、重症化リスクの高い方への丁寧なフォロー、希望される方へのワクチン接種体制に加えて、接種後の一連的な副反応相談窓口体制の確保など、引き続き感染症対策に取り組んでまいります。30%のプレミアム付き商品券については、次回は発行総額325億円・プレミアム額75億円と拡充して実施し、キャッシュレス決済の利用促進も図ります。

2023年 年頭所感

新春を迎えて

愛知県知事
大村 秀章



年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、愛知県政150周年を迎える中、スタジオジブリの作品群を凝縮した「ジブリパーク」が開園した記念すべき年となりました。

さらに、国際芸術祭「あいち2022」の成功、愛知国際アリーナやSTATION Aiの工事着手など、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する1年となりました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速的な進展、カーボンニュートラルを目指す企業を増やすことで、名古屋のまちにさまざまな人材を支援するべく、人材発掘を行います。傑出した若者の情報を取りまとめたインバーターパンフレットを構築することで、傑出した若者の才能が各方面で花開くことを継続的に支援することができます。企業に起業を志す人の育成です。この名古屋の地から世界で戦えるスタートアップ企業を生み出すために、多くの若者の起業家精神を呼び覚ます。すべての人が活躍することができる社会をつくりあげる上で最大の障害となるのが、無意識の偏見(アノンシャスバイアス)であります。難しい言葉を使わずに、皆の興味を惹くような仕掛けをつくっていきます。人づくりグループでは、これらの取り組みを行うことで、大切な人を幸せにする人材を育てていきます。

名古屋の魅力そのものを外に発信し、広く認識してもらうことで、名古屋周辺の観光地の魅力と合わせ、名古屋の交流人口を気に増やします。地域の特色を活かし、独自のプランディングをすることで、にぎわいを取り戻している商店街もあります。市のシャッター街すばり組み、外国人との相互理解の促進、親子間のコミュニケーション機会、誰もが主体的に学び、幸せになり、自己肯定感を高める必要があります。自分の個性を家族や周りの人に認めてもらおう機会、誰もが主導的かつ自由に学び、幸せな生き方を選択できる機会を社会全体で創出する必要があると考えます。

子どもの貧困対策、放課後教育の新たな取り組み、外国人との相互理解の促進、親子間のコミュニケーション機会の減少など名古屋市が抱える課題は多くあります。そのような中、名古屋市は、「Nagoya School Innovation」という先駆的な教育を取り組もうとしています。教育グループでは、豊かな人間形成は教育によって育まれると考えています。名古屋青年会議所会員が所属する企業が、学校や行政と協力し合い、子どもたちに学びの場を提供していきます。

今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知のモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、イノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。

来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」が開園します。「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信してまいります。

「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和5年元旦

Junior Chamber International NAGOYA 2023

昨年は急激な円安や生活必需品の値上がり、海外情勢の変化など多数の変化がありました。社会と経済は低迷し、市民の生活にも大きな影響をもたらしました。このような時代だからこそ、前向きな行動と変化を常に意識し、市民が安心して幸せに暮らせる時代を我々がつくっていかなければなりません。私たち公益社団法人名古屋青年会議所は、

「幸せが連鎖するまち名古屋 あなたの隣の人を笑顔にしよう!」

のスローガンのもと、社会的・経済的に持続可能な名古屋のまちの実現に向けて全会員心をひとつにして様々な運動を開催していきます。本年度のすべての運動の根底にあるもの、それは「大切な人を幸せにするために己を尽くすこと」であります。運動によって、世間の空気が変わり、世の中が変化した結果、大切な人が幸せになります。そして、その幸せになった人が、運動を楽しむための大切な人を幸せにしていくことになります。運動によって、世間の空気が変わることで、運動の連鎖を興すためには、市民がワクワクするような視点を大切にする必要があります。市民との接着力を的確に捉え、世の中の空気を変えていきます。

青年会議所とは、世の中を変える運動を生み育て、パートナーと共に抜けていく団体であります。名古屋青年会議所会員はもともと、事業に関わる人や触れた人が事業を自分で捉えられる形を模索していきます。そして、名古屋青年会議所が興すすべての運動が、名古屋青年会議所の手を離れたとしても自走する形を追求していきます。

昨年は、公益社団法人名古屋青年会議所の活動に多大なるご理解とご協力を賜りました。社会と経済は低迷し、市民の生活にも大きな影響をもたらしました。このような時代だからこそ、前向きな行動と変化を常に意識し、市民が安心して幸せに暮らせる時代を我々がつくっていかなければなりません。私たち公益社団法人名古屋青年会議所は、

明るい豊かな社会の実現のために、市民の皆様との接着点を意識して、市民の皆様がワクワクするような視点、そして市民が運動に参加したいという気持ちを大切にして運動を興していきます。

まずは「人」づくりです。

名古屋にインベーションをもたらす傑出した若き人材を支援するべく、人材発掘を行います。傑出した若者の情報を取りまとめたインバーターパンフレットを構築することで、傑出した若者の才能が各方面で花開くことを継続的に支援することができます。企業に起業を志す人の育成です。この名古屋の地から世界で戦えるスタートアップ企業を生み出すために、多くの若者の起業家精神を呼び覚ます。すべての人が活躍することができる社会をつくりあげる上で最大の障害となるのが、無意識の偏見(アノンシャスバイアス)であります。難しい言葉を使わず、皆の興味を惹くような仕掛けをつくっていきます。人づくりグループでは、これらの取り組みを行うことで、大切な人を幸せにする人材を育てていきます。

次に「まち」づくりです。

名古屋の魅力そのものを外に発信し、広く認識してもらうことで、名古屋周辺の観光地の魅力と合わせ、名古屋の交流人口を気に増やします。地域の特色を活かし、独自のプランディングをすることで、にぎわいを取り戻していく商店街もあります。市のシャッター街すばり組み、外国人との相互理解の促進、親子間のコミュニケーション機会の減少など名古屋市が抱える課題は多くあります。そのような中、名古屋市は、「Nagoya School Innovation」という先駆的な教育を取り組もうとしています。教育グループでは、豊かな人間形成は教育によって育まれると考えています。名古屋青年会議所会員が所属する企業が、学校や行政と協力し合い、子どもたちに学びの場を提供していきます。

次に「教育」です。

人を幸せにするためには、まず自分自身が幸せになり、自己肯定感を高める必要があります。自分の個性を家族や周りの人に認められることができます。難しい言葉を使わずに、皆の興味を惹くような仕掛けをつくっていきます。人づくりグループでは、これらの取り組みを行うことで、大切な人を幸せにする人材を育てていきます。

次に「国際」です。

これまで培ってきた姉妹青年会議所との連携に加えて、名古屋市と交流の深いウズベキスタン共和国タシケント市との連携も視野に入れ、国際ビジネス事業を開拓していくます。また「まち」グループでは、名古屋に住むすべての人が、力を合わせて地域自治を支えることができます。生きやすいまちへと進化させるため、人が行き交う「まち名古屋」を目指します。

する企業を増やすことで、名古屋のまちに子どもを産み育てやすい空気感を醸成します。東海地域に暮らす我々に今必要なことは災害が起きてても人災に発展しないよう、市民と共に充分な備えをしていくことです。企業における防災訓練の実施を推進していく何が起きても、まちづくりグループでは、名古屋に住まうすべての人が、力を合わせて地域自治を支えることができます。生きやすいまちへと進化させるため、人が行き交う「まち名古屋」を目指します。

これまで培ってきた姉妹青年会議所との連携に加えて、名古屋市と交流の深いウズベキスタン共和国タシケント市との連携も視野に入れ、国際ビジネス事業を開拓していくます。海外の姉妹青年会議所と連携して、名古屋の学生たちに多様な文化・価値観に触れる機会を創出し、グローバルに社会課題を解決する人材を育てていきます。アイデンティティが確立する前の子どもたちに對して、スピード交換を通して、多様な価値観に触れる機会を提供することにも注力します。

MICE機能を強化し、多くの外国人を呼び込むと宣言しながら、來ていたいた外国人への配慮がまだ足りていません。国際交流グループでは、名古屋青年会議所が多様な文化を受け容れるための変化をまちに興していき、世界に冠たる名古屋をつくります。

公益社団法人名古屋青年会議所
第73代 理事長 竹腰 正見



年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知のモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、イノベーション創出に挑戦していくかなければなりません。

今年も、海外の有力スタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知のモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、イノベーション創出に挑戦していくかなければなりません。

来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」が開園します。「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信してまいります。

「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。

令和5年元旦



夢溢れる未来を描き
世界に冠たる
日本を取り戻す

公益社団法人 日本青年会議所

第72代会頭

麻將禮

本年度、日本青年会議所といたしましては、「夢溢れる未来を描き世界に冠たる日本を取り戻す」を基本理念に掲げ、全国の青年会議所における総合連絡調整機関としての役割を改めて確立し、各地の皆様と手を携え、まちをより良くするための運動を展開してまいります。日本中の青年会議所メンバーとともに夢を描き、和而不同的精神で地域の未来について真剣に議論し覚悟をもつて実現していくことで青年会議所の価値をさらに高めていくものにしたいと考えております。引き続き深いご理解とご支持

貴青年会議所が、本年度、竹腰正見理事長のもと、スローガンに「大切な人を幸せにするためには己を尽くそう」名古屋青年会議所から生まれる幸せの好循環」掲げ、明るい豊かな社会を実現するため、地域の課題に 対して、挑戦を続けるリーダーとして、夢を追い求め、本質を追求した運動を展開させていただきます。移り行く時代の中、新たな挑戦を掲げられている貴年会議所に、心から敬意を表するとともに、万全の態勢で連携ならびに様々なサポートをさせていただければ幸いです。

公益社団法人名古屋青年会議所の皆様
新年おめでとうございます。謹んでご挨拶を
を申し上げます。また日頃より公益社団は
人日本青年会議所に対し、格別のご高配を
賜り厚く御礼申し上げます。本年度は、顧問
光田侑司君、財務運営会議議長三宅功一君
をはじめとする素晴らしい人財を数多くご
輩出いただいておりまこと、重ねて御礼
申し上げます。

るまちづくりを強力に推進することである。

選ばれて人が集うまち・
名古屋を目指して

では国際展覧会・商談会・エアロマート名古屋「2023」などの事業を通じて、各分野への参入を支援いたします。さらにスタートアップ・新事業の創出では、「なごのキャンパス」を核に、入居するスタートアップ企業との交流やニーズに応じたマッチング事業、新たな分野での人脈の形成を支援することで、地域発のイノベーション、スタートアップを創出する役割を果たして参りたいと思います。

これから企業の持続的な成長や当地域のさらなる発展には、デジタル化やグリーン化、さらに自動車産業の「百年に一度の大変革」など、これから避けて通ることができない大きな時代の潮流に対応しなければなりません。そのためには成長が見込まれる次世代産業の振興や革新的なアイデアや技術によるイノベーション、さらにスタートアップによる新しい価値創造が重要になります。野では「メディカルメッセ」、航空宇宙各分野による新規事業開拓が期待されています。

経営・労務など幅広い分野にわたる経営相談などの諸事業を実施いたしております。

中小企業の挑戦と 変革を後押し

明けましておめでとうございます。

2023年

年頭所感

名古屋商工会議
会頭 嶋尾



イナ侵攻は、エネルギー供給の制約や価格高騰により世界経済に大きな打撃を及ぼしております。加えて急激な円安や半導体不足による混乱、さらに様々な業界で人手不足が深刻となるなど、難しい課題を一気に突き付けられた一年でありました。

次世代産業の振興と
イノベーション・
スタートアップの創出

の都市力・産業力強化にも努めて参ります。昨年11月に「ジブリパーク」がオープンし、国内外からの注目を集めております。リニア開業を見据え、MICC-E施設やラグジュアリー・ホテルのオープンも控えており、多くの人が集い、交流する受け皿が整ってきております。

2023年度 出向者一覧

JCI

JCI基金委員会
委員
早矢仕 友幸

JCI APDC
開発担当役員
石原 裕也

公益社団法人日本青年会議所

顧問 光田 侑司
国際ビジネス連携会議 副議長 立野 晶弘
次世代社会デザイン委員会 副委員長 志村 昌彦
運動プラットフォーム推進委員会 副委員長 中尾 俊介
全国大会運営会議 会計幹事 青木 宏樹

財務運営会議 委員長 三宅 功一
好循環地域確立会議 副議長 河本 和寛
リーダー育成会議 副議長 石川 和寛
JCブランディング会議 副議長 上岡 賢輔
国際連携会議 副議長 坂口 晃逸
地域スポーツ活性委員会 副委員長 的井 利樹
LOM支援委員会 会計幹事 井上 有香
財務運営会議 総括幹事 都世子 翔太

公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会

顧問 早矢仕 友幸
財政審査特別委員会 委員長 上杉 謙二郎
財政審査特別委員会 総括幹事 齋藤 智之

公益社団法人日本青年会議所 東海地区 愛知ブロック協議会

監査担当役員 鵜飼 伸弥
強いあいち確立委員会 副委員長 田中 嗣大
ブロック大会運営委員会 副委員長 浜脇 亮
観光都市あいち推進委員会 会計幹事 石橋 弘隆
事務局 監査担当役員補佐 林 克徳
事務局 監査担当役員補佐 佐藤 王治
観光都市あいち推進委員会 委員長 石野田 洋平
組織改革戦略委員会 副委員長 木皿 孝平
観光都市あいち推進委員会 総括幹事 新田 真之
ブロックアカデミー委員会 塾幹事 井山 将成
観光都市あいち推進委員会 運営幹事 坪内 禅
ブロックアカデミー委員会 塾幹事補佐 小林 亮太
事務局 監査担当役員補佐 久保 智裕
事務局 監査担当役員補佐 山口 剛

敬称略。なお、スペースの都合上、スタッフ出向者のみご紹介させていただきます。

謹んで新春をお祝い申し上げます。
平素より東海地区協議会の運動へのご理解とご協力を賜りまして御礼申し上げます。
2023年度の東海地区協議会は「世界に目を向け、夢を語ろう、力漲る東海の創造」を基本理念として、広い視野を持ち能動的に行動をことができる人材の育成をテーマに運動に努めています。
JC青年の船「とうかい号」はこれまで東海地区を代表する人材育成事業であります。
しかし、昨今の情勢の中で中止が継続しております。そしてその間、私たちを取り巻く環境は大きく変化をしてしまいました。
アフターコロナの新時代に向けて、この事業を時代に即した形へと変換し、地域の課題解決や持続可能な社会の実現に向けた取り組みへと昇華させるのが本年度の地区役員の使命と考えております。とうかい号の完結と、新時代に挑戦する新しい国際的人材育成事業の構築を基軸として、地区役員一同1年間の運動に尽力してまいります。
御会議所におかれましては、本年度も多

くの力強い出向者をご輩出いただきまして感謝いたします。出向者のご経験を結集し、新しい東海地区的構築に向けて邁進するとともに、出向者の更なる成長をお約束申し上げます。
末筆ではございますが、竹腰理事長が目指された2023年度の事業、運動が素晴らしい成果を残せることを心からお祈り申し上げまして、私からの新年のご挨拶と代えさせていただきます。

新年おめでとうございます。
平素より、公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会の活動と運動に対し、格別のご理解とご協力を賜つていただき、心から御礼申し上げます。また、監査担当役員として鵜飼伸弥君、観光都市あいち推進委員会委員長として石野田洋平君をはじめとする多くの出向者をご輩出いたいていることにも重ねて御礼申し上げます。

本年度、愛知ブロック協議会は「33の力強い連携による光輝く愛知の創造」をスローガンに掲げて活動と運動を展開いたします。地域の魅力と国際的視点を活かした地域経済の充実、土台固めによる地域の強化、未来を担う人材の確保と育成による組織の発展、青年会議所の存在価値の向上、機動的で盤石は組織の運営を基本方針として、目の前の現実と向き合い、これまでの経緯を調べ、日指すべき未来の姿を想像し、明確な目的をもって具体的に行動することで、光り輝く愛知を創造してまいります。

結びに、愛知ブロック協議会に対し、2023年度もこれまで同様にご指導、ご支援ることをお願い申し上げ、年頭の挨拶といたします。
公益社団法人名古屋青年会議所には、理事長竹腰正見君の類いの希なりーだーシップのもと、大切な人を幸せにするために己を尽くし、地域の課題解決に向けることに心から御礼申し上げます。また、監査担当役員として鵜飼伸弥君、観光都市あいち推進委員会委員長として石野田洋平君をはじめとする多くの出向者をご輩出いたしていることにも重ねて御礼申し上げます。そして、その力強い運動が世間の空気を変え、目に見える形で世の中を変化させた結果、大切な人を幸せにし、その人が運動を興し、また別の大切な人を幸せにしていく好循環をつくることで、明るい豊かな社会がつくられることを心より祈念いたします。

東海地区協議会 基本理念

世界に目を向け、
夢を語ろう、
力漲る東海の創造公益社団法人日本青年会議所
東海地区協議会

会長

鍋田 昌吾

愛知ブロック協議会
2023年度スローガン33の力強い連携による
光輝く愛知の創造公益社団法人日本青年会議所
東海地区 愛知ブロック協議会

2023年度 会長

杉浦 晴太郎



第73年度は、5グループにて
市民との接着力を意識して運動を興し、
大切な人を幸せにするために己を尽くします

「総務」グループ

持続可能な
名古屋青年会議所としての
組織運営

グループ長
松岡 秀佳

「国際交流」グループ

国際ビジネスの創出、
グローバルな社会課題を
解決できる人材の育成、
多様な価値観に触れられる
機会の創出、
名古屋のまちの
グローバル化

グループ長
中山 隼人

「教育」グループ

子どもの貧困対策、
放課後教育の民間委託確立、
外国人との相互理解促進、
スクールイノベーションへの
取り組み、
親子の絆を深める
機会の創出

グループ長
安井 琢磨

「まちづくり」グループ

名古屋の魅力発信、
商店街の活性化、
ベビーファースト運動の推進、
災害への備え、
まちの自治への
若者の参画

グループ長
高橋 亮

「人づくり」グループ

イノベーター人材バンクの構築、
起業家精神の育成、
すべての人が生きたいように
生きられる社会の実現

グループ長
岩下 大高



第73年度
専務理事
吉川 徹





公益社団法人名古屋青年会議所
2023年度(第73年度)組織図

